

## 昭和ロマン蔵

昭和ロマン蔵は豊後高田市の昭和の町にあるレトロをテーマにしたアトラクションで、大分県でも有数の豪商だった野村家がかつて所有していた 3 棟の蔵で構成されています。この豊後高田市のランドマークは昭和時代 (1945-1989) の小物や貴重な品々を展示するためのレトロな空間に改装されており、この町の商店街が掲げるテーマにぴったりの場所になっています。

改修された蔵の一つには「三丁目館」があります。ここでは効果音の流れる小学校の教室や伝統的な地元の民家など、昭和の町並みを模したレプリカを来館者が楽しむことができます。ここでは射的やパチンコ (日本の機械仕掛けのゲーム機) などのレトロゲームも遊べます。施設内には「駄菓子屋の夢博物館」も設置されています。60,000 点余りという膨大な数の昭和期の品々が特徴です。また、ここにはデジタルアート集団「チームラボ」によるインタラクティブ展示も行われています。この展示では、来場者が人の絵を描いて色を塗ると、それが壁に投影されて「草地おどり」という伝統的な歌と踊りを披露してくれます。

蔵の外では、1950 年代の観光ボンネットバスなど、レトロカーの展示を見ることができます。また、週末と祝日には無料ツアーも開催されます。昭和ロマン蔵にはとり天 (鶏の天ぷら) やその他の和定食とデザートなど、地元名物を味わうことのできる施設内レストランもあります。レトロなおもちゃやお菓子といったお土産品も博物館外の売店で購入できます。